

山形県総合文化芸術館の施設利用ガイドライン

このガイドラインは、令和5年3月13日（月）から当面の間における施設利用の基準を定めたものです。

本県の「イベント等の開催に関する基本方針」等の変更及び県内の新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、適宜見直しを行います。

1 開館時間及び休館日

開館時間：9時から22時まで

休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）

2 利用対象

体調の悪い方は御遠慮ください。

3 利用可能な内容

（1）施設利用

「イベント等の開催に関する基本方針」（令和5年2月15日）、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則って、以下の「規模要件」を満たし、かつ留意事項に対応いただける場合に、施設をご利用いただくことができます。

なお、事前予約が必要です。

① 規模要件

ア 収容定員がある場合

各施設の定員に同じ

【注】「規模要件」における人数は、主催者と参加者のいる場所が明確に分かれている場合（例えば舞台出演者と観客等）には参加者数のみを計上することとし、主催者と参加者のいる場所が明確に分かれていない場合（例えば展示会的主催者と来場者等）には両者を合計した数とする。

イ 収容定員がない場合（イベント広場、ピロティ、貸出可能な共有スペース）

人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保すること

（2）その他入館（利用申込、チケット購入、見学等）

（1）以外の入館も可能です。

4 留意事項

（1）入館される皆様へのお願い

感染予防のため、入館される皆様へ次のことをお願いします。

- ・ 以下の症状に該当する場合は入館を控えてください。
＜咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐＞
- ・ 施設入口に設置された体表面温度感知器で熱が感知され、あらためて体温測定を行った結果、37.5℃以上の熱がある方は入館を控えてください。
- ・ 館内のあらゆる場所で、身体的距離（人と人が触れ合わない程度の間隔）（以下、「身体的距離」という。）を確保した行動をとってください。

また、利用内容に応じて、以下のことに注意してください。

① 貸館施設（大ホール、スタジオ、練習室、会議室、広場、ピロティ、貸出可能な共有スペース）利用等の場合

ア. 飛沫の抑制の徹底

近距離での会話を控えてください。

イ. 手洗い、手指消毒の徹底

こまめに手洗いや手指消毒を行ってください。

ウ. 換気の徹底

大ホールは適切な換気システムによる持続的換気が可能であり、換気能力も高く、公演中でも空間容積を10分間で静音換気することが可能です。

会議室、練習室等はドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行ってください。

② その他入館

・ 利用申込、相談、チケット購入、払い戻し等

クラスターの発生リスクを下げるために御協力ください。

ア. 換気の徹底

ホール事務室は、ドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行います。

イ. 来館時間の予約

窓口で待ち時間が発生しないよう、来館時間をあらかじめ電話等で予約してください。

ウ. 窓口での対応

近距離での会話を控えてください。

・ その他（休憩、自由見学等）

クラスターの発生リスクを下げるために御協力ください。

ア. 換気の徹底

館内は、ドアや窓を開けて、1時間に1～2回程度の定期的な換気を行います。

イ. 身体的距離の確保

館内のあらゆる場所で、身体的距離を確保してください。

館外においても、駐車場利用料金の精算時等、常に身体的距離を確保してください。

ウ. ロビー等の利用

近距離での会話を控えてください。

また、ロビー等で休憩する場合は、向かい合って座らないようにしてください。

(2) イベント等を主催される方等へのお願い

① 感染防止策の徹底

イベントの主催者等は、別添「イベント開催等における必要な感染防止策」に示す基本的な感染症対策に必要な取組みを実施してください。

② チェックリストの公表等

イベントの主催者等は、別紙「イベント開催時のチェックリスト」を作成し、ホームページ等で公表するとともに、イベント終了日から1年間保管してください。

③ クラスタが発生した場合の対応

イベント等におけるクラスタの発生があった場合は、県からの指導等に従い、イベントの感染防止策を徹底し、必要に応じてなされる、イベントの無観客化、中止又は延期等の要請に協力してください。

5 スタッフによる感染リスク低減のための措置

(1) スタッフは検温等の健康管理及び手洗い、手指の消毒を徹底します。

(2) 館内の大ホールや諸室と出入口に至る階段の手すりやドアノブ、エレベーターのボタン、トイレ等、高頻度接触部位を中心に薬剤での清掃を強化します。